

開設科目名	人間の尊厳と生命倫理	科目コード	MWSB901	開設期	通年
単位数(履修区分)	1単位(必修)	時間数	15時間	授業区分	講義、演習
責任者	桃井 雅子	担当者	牧山 強美、井手 信、桃井 雅子		
授業の概要(授業の目的)					
建学の精神「カトリックの愛の精神」に基づく、人間の存在、いのちの尊厳への理解を深める。医療技術の進歩に伴い新たに派生してきた性と生殖に関する様々な問題を倫理的側面から学ぶ。いのちの誕生に直接携わる専門職者としての倫理観の形成を目的とする。					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
1) 人間の有する人格の尊厳を基盤とした「主要概念」と「生命倫理の原則」を理解できる。				◎1.人間の尊厳といのち・生命の尊重 2.自然性を尊重したケア/ケアリング 7.専門職としての主体性・自律性	
2) 臨床における助産実践について、倫理的問題の本質に気づき、考察できる。					
3) 母児の有する「人格の尊厳」と「いのちの尊厳」を尊重したケアの実践またアドボカシーについて、助産師である自らの役割・責務を考察できる。					
4) 自らの「専門職の尊厳」を理解し、それを尊重することについて考察できる。					
5) 建学の精神「カトリックの愛の精神」に基づく生命尊重とケアリングを理解し、実践できる。					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1.	人格の尊厳を基盤とした生命倫理の「主要概念」と「諸原則」(その1 基礎編)	講義(対面)	牧山	・予習:教科書「指針 人格の尊厳」を読んでおくこと。特に序文および第一部で用いられているわかりにくい概念については予め調べて講義に臨むこと。 ・復習:「指針 人格の尊厳」全体を再度読んで振り返る。	4時間
2.	人格の尊厳を基盤とした生命倫理の「主要概念」と「諸原則」(その2 応用編)	講義(対面)	牧山	・予習:教科書「生命倫理についての新しい指針」を読んで、理解しにくい、あるいは賛同できないと感じた点をチェックしておくこと。 ・復習:自分また他者の「いのちのはじまりとおわり」の現場を想定しながら、講義内容をふりかえり、簡潔にまとめておく。	4時間
3.	人格としてのいのちのはじまり～臨床における倫理的問題～	講義(対面)	井手	・参考書(看護学生のための医療倫理 16-23ページ)を読んでおくこと。当日一事例を紹介しします。 ・復習:授業内容を振り返り、内省・考察する。	4時間
4.	専門職としての助産師 助産師の尊厳、使命、責務・役割 助産実践と倫理原則	講義 発表(対面)	桃井	・予習:第1~3回目の授業内容を振り返り、再度、いのちの誕生における助産師の尊厳、使命、役割・責務、助産実践において遵守すべき倫理原則について予め考察する。 ・復習:授業内容を振り返り、内省・考察する。	4時間
5.	「いのちの誕生と生命倫理」 ケース・スタディ① 倫理的問題の明確化	発表 ディスカッション(対面)	桃井	・予習:演習(発表、ディスカッション)に向けて文献(事前に提示)を読み、第1~4回までの学びを基に、「何が」「何故」倫理的に問題であるかについて予め考察する。 ・復習:授業内容を振り返り、内省・考察する。	4時間
6.	ケース・スタディ② 倫理的問題の理解と考察	発表 ディスカッション(対面)	桃井	・予習:演習(発表、ディスカッション)に向けて、第5回で明らかになった倫理的問題について、問題の現状・内容を学術情報を活用して予め調べておく。 ・復習:授業内容を振り返り、内省・考察する。	4時間
7.	ケース・スタディ③ 倫理的問題に対峙する助産師の	発表 ディスカッション(対面)	井手 桃井	・予習:演習(発表、ディスカッション)に向けて、第6回で取り上げた倫理的問題の現状・内容を踏まえた上で、そこで助産師に求められる使命、責務・役割とは何かについて予め考察する。 ・復習:8回の授業内容を振り返り、内省し、課題レポートをまとめる。	4時間
8.	尊厳、使命責務・役割の考察				4時間
成績評価方法・基準	① 発表(ケース・スタディを含む授業内課題のプレゼンテーション)50%(桃井) ② 授業外レポート(全授業の学びを総括するレポートを作成。課題は第8回目に提示)50%(桃井)				
課題に対するフィードバック	授業外レポートに対しては、個別のフィードバックと、全体に向けての総評をします。				
教科書	①教皇庁 保健医療従事者評議会(2016):生命倫理についての新しい指針 ~いのちと健康に奉仕するすべての人に向けて~, インターメディカ, 東京。 ②教皇庁 教理省(2014):指針 人格の尊厳 生命倫理のいくつかの問題について, カトリック中央協議会, 東京				
参考書・参考文献	・教皇ヨハネ・パウロ二世(2008):回勅 いのちの福音, カトリック中央協議会, 東京。 *その他、授業内容に応じて文献を紹介しします。				

オフィス 学習相談 メッセージ	<p>* オフィスアワー：水曜日 16:30~18:00（桃井雅子） * 学習相談：随時受け付けます。</p> <p>* メッセージ：本学の「建学の精神」のもとで学び、将来、「いのちの奉仕者」である助産師として、女性、母子と家族のケアに携わる自身の使命、責務・役割とは何かを内省・考察する機会を、授業を通して意識的に持ってくださいをお願いします。</p> <p>* そ の 他：この科目は、看護職・医療職の実務経験を有する教員がケアについて教授する科目です。ケース・スタディでは「女性の妊孕性に関する意思決定支援のための看護教育プログラム開発」の研究成果を、一部、参照して授業を行います。</p>
-----------------------	--

開設科目名	性と生殖の形態機能 I	科目コード	MWSB902	開設期	前期
単位数 (履修区分)	1 単位 (必修)	時間数	15 時間	授業区分	講義・演習
責任者	川上桂子	担当者	川上桂子、堀大蔵、下村拓也、中村薫		
授業の概要 (授業の目的)					
産科領域における形態・機能について学修する。マタニティサイクルにある妊産褥婦の性と生殖の形態・機能に関する健康課題を理解し、助産ケアを展開する上で必要となる性と生殖を、臨床医学、看護学などあらゆる面から科学的に捉え、セクシャル・ヘルスについて理解を深め、助産師として実践的思考能力を高めるよう学修する。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1. 妊娠・分娩・産褥期の生殖器と骨盤の形態・機能の特徴と変化を理解できる。			1. 人間の尊厳といのち・生命の尊重		
2. 妊娠・分娩・産褥期におけるホルモン動態の変化について理解できる			◎2. 自然性を尊重した、ケア/ケアリング		
3. 妊娠・分娩・産褥期の正常な経過と分娩の機序、生理的特徴を産科の視点から理解できる。			◎4. 根拠に基づく実践		
4. 胎児の成長と発達、および胎児付属物について説明できる。					
5. 超音波診断装置による胎児の発育状態・健康状態の見方・評価法において助産師ケアに必要な基本的な知識・技術を学修できる					
6. 会陰切開術・会陰裂傷・縫合術について説明することができる					
7. 1～6 の理解を通して、性と生殖の形態機能を活かす助産ケアを考察できる					
授業計画 (授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等) * 遠隔授業の方法: Zoom による同時双方向型					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	成人女性の生殖器 (内性器・外性器) の形態・機能、児頭の回旋と骨盤の関係	講義 (遠隔)	中村	予習: 教科書の該当箇所、資料を読む 復習: 講義で学んだ回旋と骨盤の関係をまとめておく	4 時間
2	女性ホルモンの動態、妊娠による内分泌環境の変化と妊娠・分娩・産褥への影響	講義 (遠隔)	中村	予習: 教科書の該当箇所、資料を読む 復習: 授業を振り返り復習する	4 時間
3	妊娠期の正常な経過と生理的特徴 診断・管理	講義 (面接)	堀	予習: 教科書の該当箇所、資料を読む 復習: 授業を振り返り復習する	4 時間
4	分娩・産褥期の正常な経過と生理的特徴 分娩の機序、診断・管理(正常からの逸脱予防)	講義 (面接)	堀	予習: 教科書の該当箇所、資料を読む 復習: 授業を振り返り復習する	4 時間
5	胎児の成長と発達 ① ・胎児の発育・健康状態 ・胎児付属物の形態・機能	講義 (面接)	下村	予習: 教科書の該当箇所、資料を読む 復習: 授業を振り返り復習する	4 時間
6	胎児の成長と発達② ・胎児超音波診断	講義・演習 (面接)	下村	予習: 教科書の該当箇所、資料を読む 復習: 授業を振り返り復習する	4 時間
7	分娩期・産褥期の診断技術・治療 ・会陰切開、会陰裂傷・会陰縫合術	講義・演習 (面接)	下村	予習: 教科書の該当箇所、資料を読む 復習: 授業を振り返り復習する	4 時間
8	マタニティサイクルにある女性の性と生殖の形態機能に関連した女性の健康と助産ケア	講義・GW・討議 (面接)	川上	予習: 1～7 までの授業を振り返り、マタニティサイクルにある女性の性と生殖の形態機能からの健康と助産ケアを考えておく 復習: 授業を振り返り考察する	4 時間
成績評価方法・基準	定期試験 60% (中村 20%、堀 20% 下村 20%) 課題レポート 20% (下村・川上) 授業態度・授業への参加度 20% (川上)				
課題に対するフィードバック	・課題の出題意図の説明を行う ・講義内で総評や今後の学習アドバイスを行う				
教科書	①吉沢豊子編: 助産師基礎教育テキスト第 2 巻 本看護協会出版会, 最新版 ②森恵美編: 助産師基礎教育テキスト第 4 巻 本看護協会出版会, 最新版 ③佐々木みこ編: 助産師基礎教育テキスト第 5 巻 本看護協会出版会, 最新版 ④小林康江編: 助産師基礎教育テキスト第 7 巻 本看護協会出版会, 最新版				
参考書・参考文献	①医療情報科学研究所編: 病気が見える vol.10 産科 メディックメディア 最新版 ②平澤恵美子監修: 写真でわかる助産技術アドバンス, インターメディカ 最新版 ③北川真理子編: 今日の助産 南江堂 最新版				
オフィス 学習相談 メッセージ その他	オフィス: 川上 桂子 火曜日、16:30～17:30 連絡先: 2 号館 1 階 L219 メールアドレス: kawakami@stmaryacjp.onmicrosoft.com 上記時間帯以外でも可能な時間であれば随時対応します。事前にご連絡ください。 メッセージ: 産科領域における形態・機能を理解し、根拠に基づいて、助産過程の展開、よりよい助産ケアの実践に役立てましょう。				

開設科目名	性と生殖の形態機能Ⅱ	科目コード	MWSB903	開設期	前期
単位数(履修区分)	1単位(必修)	時間数	15時間	授業区分	講義
責任者	柳本朋子	担当者	柳本朋子、杉山 徹、村上文洋		
授業の概要(授業の目的)					
婦人科領域における形態・機能および各ライフステージにおける女性の健康課題とケアについて学修する。女性の一生の健康問題を性ホルモンの動態を基に理解し、また、生活習慣、環境から発症するライフサイクル各期の疾患を学ぶことにより、継続した保健指導(疾病予防含む)が展開できるよう、正常から逸脱した形態機能について事例を基に学修する。					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
1. 性ホルモンの動態・加齢による疾患の発生機序を理解できる。				2. 自然性を尊重したケア/ケアリング ◎3. 各ライフステージにおける全人的理解	
2. 女性のライフサイクル各期に起こる主な疾患の病態生理を理解できる。					
3. ライフサイクル各期の疾患の診断と治療を踏まえた健康教育(疾病予防含む)について述べる事ができる。					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等) ※遠隔授業の方法: zoom/teamsによる同時双方向型					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	1. ライフサイクル各期の性ホルモン動態と女性の健康 2. 思春期疾患 思春期と月経異常 性感染症 等	講義 <遠隔>	村上	予習: テキストの該当箇所を読む。 復習: 配布された資料の復習、授業内容の振り返りと考察をする	4時間
2	3. 成熟期疾患 不妊症・不育症 生殖補助医療	講義 <遠隔>	村上	予習: テキストの該当箇所を読む。 復習: 配布された資料の復習、授業内容の振り返りと考察をする	4時間
3	4. 成熟期疾患 生殖器の感染症 子宮内膜症 子宮筋腫 等	講義 <遠隔>	村上	予習: テキストの該当箇所を読む。 復習: 配布された資料の復習、授業内容の振り返りと考察をする	4時間
4	4. 成熟期疾患 子宮頸がん 子宮体がん	講義 <面接>	杉山	予習: テキストの該当箇所を読む。 復習: 配布された資料の復習、授業内容の振り返りと考察をする	4時間
5	4. 成熟期疾患 卵巣腫瘍 卵巣がん	講義 <面接>	杉山	予習: テキストの該当箇所を読む。 復習: 配布された資料の復習、授業内容の振り返りと考察をする	4時間
6	5. 更年期・老年期疾患 閉経と更年期障害 高脂血症・虚血性心疾患 骨粗しょう症 等	講義 <遠隔>	村上	予習: テキストの該当箇所を読む。 復習: 配布された資料の復習、授業内容の振り返りと考察をする	4時間
7	6. 思春期・成熟期女性の支援	講義 GW <面接>	柳本	予習: テキストや文献、これまでの学修を活用し、病態生理や課題を明確にしておく。 復習: 授業内容やグループワークにて女性のライフサイクルにおける必要な支援を考察する。	4時間
8	7. 更年期・老年期女性の支援	講義 GW <面接>	柳本	予習: テキストや文献、これまでの学修を活用し、病態生理や課題を明確にしておく。 復習: 授業内容やグループワークにて女性のライフサイクルにおける必要な支援を考察する。	4時間
成績評価方法・基準	筆記試験 90%、発表・演習 10% (担当者全員で評価を行う)				
課題に対するフィードバック	テキスト予習と配布資料の復習が課題であり、講義をオムニバス形式で担当しますので、講義中、あるいは講義後に質問を受けることでフィードバックをします。				
教科書	吉沢豊予子編: 助産師基礎教育テキスト, 第2巻, 日本看護協会出版会, 最新版				
参考書・参考文献	井上裕美他監修: 病気がみえる vol.9 婦人科・乳腺外科, メディックメディア, 最新版 藤井智行総編集: 産科婦人科臨床6, 女性ヘルスケア, 中山書店 2019. 我部山キヨ子編集: 基礎助産学講座2, 医学書院, 最新版				
オフィス学習相談 メッセージ その他	柳本 朋子 火曜日 16:30 ~17:30 連絡先: 2号館1階 L 218 メールアドレス: yanagimoto@stmaryacjp.onmicrosoft.com 記時間帯以外でも可能な時間であれば随時対応します。事前にご連絡ください。 非常勤講師の講義の場合は、講義終了後教室でまたはメールにて質問等受け付けます。				

開設科目名	基礎助産学	科目コード	MWSB904	開設期	通年
単位数(履修区分)	2単位(必修)	時間数	30時間	授業区分	講義・演習
責任者	桃井雅子	担当者	桃井雅子、柳本朋子、川上桂子、山口智治、有森直子、山谷美里		
授業の概要(授業の目的)					
助産の概念、助産の歴史や意義、母子保健について理解を深め、助産師の責務・倫理・役割について学修する。女性のライフステージにおける健康課題、リプロダクティブヘルス/ライツに関する課題とそれらに影響する環境要因について学修する。女性とその家族を包括的にとらえ、家族全体の支援者として必要な知識・技能・態度を学修する。					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
1) 建学の精神に基づく「いのちの奉仕者」として、助産・助産師の概念、助産ケアの理念、専門職として助産師に求められる使命・役割と実践における倫理、助産の歴史・文化について理解・考察できる。				◎1.人間の尊厳といのち・生命の尊重 ◎2.自然性を尊重したケア/ケアリング ◎3.各ライフステージにおける全人的な理解 4.根拠に基づく実践 5.他職種との協働・連携 6.多様性の尊重した地域・国際貢献 ◎7.専門職としての主体性・自律性	
2) リプロダクティブヘルス/ライツ、セクシャル・ヘルスの概念と現代における課題を理解したうえで、助産師に求められる女性及び母子と家族への看護を考察できる。					
3) 家族・家族看護の概念・理論を理解したうえで、周産期・育児期にある女性とその家族を包括的・全人的に理解し、現代におけるさまざまな家族のニーズに応じた高度看護実践を考察できる。					
4) ヒト遺伝学の基礎、遺伝/ゲノム看護(概論)を理解したうえで、現在におけるさまざまな母子と家族のニーズに応じた高度看護実践を考察できる。					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	助産・助産師とは(概念) 専門職の使命・役割、教育・研究・実践	講義 <対面>	桃井	予習:自らの助産師への志を再考して授業に臨む。 復習:授業内容を振り返り、内省・考察する。	4時間
2	助産ケアの理念① ケアの基本となる理念、概念・理論	講義 <対面>	桃井	予習:教科書の該当箇所、指定された文献を予め読む。 復習:授業内容を振り返り、内省・考察、知を探索する。	4時間
3	助産ケアの理念② 周産期にある対象の全人的理解とケア	講義 <対面>	桃井	予習:教科書の該当箇所、指定された文献を予め読む。 復習:授業内容を振り返り、内省・考察、知を探索する。	4時間
4	助産実践と倫理	講義 <対面>	桃井	予習:教科書の該当箇所、指定された文献を予め読む。 復習:授業内容を振り返り、内省・考察、知を探索する。	4時間
5	助産の歴史と文化	講義 <対面>	柳本	予習:教科書の該当箇所、指定された文献を予め読む。 復習:授業内容を振り返り、内省・考察、知を探索する。	4時間
6	リプロダクティブヘルス/ライツ	講義 <対面>	川上	予習:教科書の該当箇所、指定された文献を予め読む。 復習:授業内容を振り返り、内省・考察、知を探索する。	4時間
7	セクシャル・ヘルス	講義 <対面>	川上	予習:教科書の該当箇所、指定された文献を予め読む。 復習:授業内容を振り返り、内省・考察、知を探索する。	4時間
8	リプロダクティブヘルス/ライツならびに セクシャル・ヘルスに関する課題と看護	講義・演習 <対面>	川上	予習:教科書の該当箇所、指定された文献を予め読む。 復習:授業内容を振り返り、内省・考察、知を探索する。	4時間
9	家族・家族看護の概念・理論	講義 <対面>	山口	予習:教科書の該当箇所、指定された文献を予め読む。 復習:授業内容を振り返り、内省・考察、知を探索する。	4時間
10	母子と家族への高度看護実践(その1) 周産期・育児期にある家族の特徴と看護	講義 <対面>	山口	予習:教科書の該当箇所、指定された文献を予め読む。 復習:授業内容を振り返り、内省・考察、知を探索する。	4時間
11	母子と家族への高度看護実践(その2) 周産期・育児期にある家族看護の実際	講義 <対面>	柳本	予習:教科書の該当箇所、指定された文献を予め読む。 復習:授業内容を振り返り、内省・考察、知を探索する。	4時間
12	ヒト遺伝学の基礎	講義 <対面>	柳本	予習:教科書の該当箇所、指定された文献を予め読む。 復習:授業内容を振り返り、内省・考察、知を探索する。	4時間
13	遺伝/ゲノム看護 ~概論~	講義・演習 <遠隔>	有森	予習:事前に配布するプリントに従い事前学修する。 復習:授業内容を振り返り、内省・考察、知を探索する。	4時間

14	母子と家族への高度看護実践（その3） 「遺伝看護」の実際①（ケース紹介）	＜対面＞	山谷		4時間
15	「遺伝看護」の実際②（ケース検討）		山谷		4時間
成績評価方法・基準	授業外レポート 100%（評価者と評価割合：桃井 40% 柳本 30% 川上 15% 山口 15%）				
課題に対するフィードバック	課題のフィードバックは、提出物の内容を確認後、個別に行います。				
教科書	工藤美子（2023）：助産概論・母子保健，日本看護協会出版会，東京.				
参考書・参考文献	教皇庁 保健医療従事者評議会（2016）：生命倫理についての新しい指針 ～いのちと健康に奉仕するすべての人に向けて～， インターメディカ，東京。 ＊その他、各授業内容に応じて参考書・参考文献をご紹介します。				
オフィスアワー・学習相談 メッセージ・その他	＊オフィスアワー：桃井雅子 水曜日 16:30～18:00 ＊学習相談：随時、受け付けます。 ＊メッセージ：建学の精神に基づく助産師の使命について、本科目を通して深く考える時を持ってくださることを願います。 ＊その他：この科目は、助産師としての実務経験を有する教員が助産ケアについて教授する科目です。第1～4回では「女性と 家族への妊孕性に関する意思決定支援に向けた教育プログラム開発」の研究成果を、一部、参照して授業を行います。				

開設科目名	助産診断・技術学 I	科目コード	MWSM901	開設期	前期
単位数 (履修区分)	2 単位 (必修)	時間数	30 時間	授業区分	講義、演習
責任者	柳本朋子	担当者	柳本朋子、川上 桂子、浅野美智留、井口亜由		

授業の概要 (授業の目的)

妊娠期の女性・胎児およびその家族を全人的に理解し、より wellness な状態に導くために必要な概念や基礎理論を学修し、助産過程の展開に必要な基礎的知識・技能・態度について学修する。

学修の到達目標

ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連

1. 妊娠期の女性・胎児およびその家族の身体的・心理的・社会的状態について理解できる。	◎1. 人間の尊厳と生命の尊重 ◎2. 自然性を尊重したケア/ケアリング 3. 各ライフステージにおける全人的理解 ◎4. 根拠に基づき実践 7. 専門職としての主体性・自律性
2. 妊娠期の女性と胎児に対し、助産診断のためのフィジカルアセスメントおよび基本的な助産技術が実施できる。	
3. 妊娠期の女性・胎児およびその家族の事例を用いて、より wellness な状態に導き、異常を早期発見するためのアセスメント、助産診断・計画の立案ができる。	
4. 妊娠期の女性・胎児およびその家族に対する必要な健康教育について理解し、実施できる。	

授業計画 (授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)

回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	助産診断・技術学の概要 助産診断とは 妊娠期ケアの概念 妊娠とそれに伴う母体の変化 妊娠の概念	講義<面接>	柳本	予習：教科書の指定の箇所を読んでおく。 復習：授業内容の振り返りと考察をする。	4 時間
2	妊娠とそれに伴う母体の変化 生殖器の変化	講義<面接>	柳本	予習：教科書の指定の箇所を読んでおく。 復習：授業内容の振り返りと考察をする。	4 時間
3	妊娠に伴う母体の変化 全身の変化	講義<面接>	柳本	予習：教科書の指定の箇所を読んでおく。 復習：授業内容の振り返りと考察をする。	4 時間
4	胎児の発育と胎児付属物 胎児の成長と発達	講義<面接>	柳本	予習：教科書の指定の箇所を読んでおく。 復習：授業内容の振り返りと考察をする。	4 時間
5	妊娠期の助産診断 妊娠経過の診断 妊婦健康診査	講義<面接>	柳本	予習：教科書の指定の箇所を読んでおく。 復習：授業内容の振り返りと考察をする。	4 時間
6	胎児の発育・健康状態の診断 胎児心拍数モニタリング	講義<面接>	柳本	予習：教科書の指定の箇所を読んでおく。 復習：授業内容の振り返りと考察をする。	4 時間
7	妊婦と家族の心理・社会的側面の診断と支援	講義<面接>	柳本	予習：教科書の指定の箇所を読んでおく。 復習：授業内容の振り返りと考察をする。	4 時間
8	妊婦と家族への支援 健康生活の診断と健康教育 妊娠期のフィジカルアセスメント	講義・演習 <面接>	柳本 川上 井口	予習：教科書の指定の箇所を読んでおく。 復習：授業内容の振り返りと考察をする。 講義中に課題を提示する。	4 時間
9	妊娠各期に対応したケア 妊娠初期の助産過程と健康教育①	講義<面接> GW	柳本 川上	予習：教科書の指定の箇所を読んでおく。 復習：授業内容の振り返りと考察をする。 教科書、参考文献を用いて健康教育を計画する。	4 時間
10	妊娠各期に対応したケア 妊娠初期助産過程と健康教育②	講義<面接> GW	柳本 川上	予習：教科書の指定の箇所を読んでおく。 復習：授業内容の振り返りと考察をする。 教科書、参考文献を用いて健康教育を計画する。	4 時間
11	妊娠各期に対応したケア 妊娠中期助産過程と健康教育①	講義<面接> GW	柳本 川上	予習：教科書の指定の箇所を読んでおく。 復習：授業内容の振り返りと考察をする。 教科書、参考文献を用いて健康教育を計画する。	4 時間
12	妊娠各期に対応したケア 妊娠中期助産過程と健康教育②	講義<面接> GW	柳本 川上	予習：教科書の指定の箇所を読んでおく。 復習：授業内容の振り返りと考察をする。 教科書、参考文献を用いて健康教育を計画する。	4 時間

13	妊娠各期に対応したケア 妊娠末期助産過程と健康教育①	講義<面接> GW	柳本 川上	予習：教科書の指定の箇所を読んでおく。 復習：授業内容の振り返りと考察をする。 教科書、参考文献を用いて健康教育を計画する。	4時間
14	妊娠各期に対応したケア 妊娠末期助産過程と健康教育②	講義<面接> GW	柳本 川上	予習：教科書の指定の箇所を読んでおく。 復習：授業内容の振り返りと考察をする。 教科書、参考文献を用いて健康教育を計画する。	4時間
15	妊娠各期に対応したケア 妊娠各期の助産過程と健康教育の発表	講義<面接> 発表	柳本 川上 浅野 井口	予習：教科書の指定の箇所を読んでおく。 復習：授業内容の振り返りと考察をする。	4時間
成績評価方法・基準	定期試験 70% 保健指導・助産過程の最終成果物の提出 20% (評価者：柳本) 授業態度・授業への参加度 10% (評価者：担当者全員)				
課題に対するフィードバック	提出物にはコメントを書いてお返しいたします。				
教科書	①森 恵美編集：助産師基礎教育テキスト 第4巻,日本看護協会出版会 最新版				
参考書・参考文献	我部山キヨ子編：助産学講座3・5・6,医学書院,最新版 井上裕美他監修：病気がみえる vol.9,婦人科・乳腺外科,メディックメディア,最新版 井上裕美他監修：病気がみえる vol.10,産科,メディックメディア 最新版 日本産婦人科学会,日本産婦人科医会編集・監修:産婦人科ガイドライン,産科編,日本産婦人科学会,最新版 中井章人：図説 CTG テキスト,アドバンス,メディカルビュー社,2017 池田智明編：CTG エボリューション,胎児生理からコンピュータ判読まで,中外医学社 2021 日本助産診断・実践研究会：マタニティ診断ガイドブック,医学書院,最新版 平澤恵美子監修：写真でわかる助産技術アドバンス,インターメディカ,最新版 北川真理子他：今日の助産,南江堂 最新版				
オフィス 学習相談 メッセージ その他	柳本 朋子 火曜日 16:30 ~ 17:30 連絡先：2号館 1階 L218 メールアドレス:yanagimoto@stmaryacjp.onmicrosoft.com 記時間帯以外でも可能な時間であれば随時対応します。事前にご連絡ください。 メッセージ：妊娠期の健康が安全・安楽な出産につながります。継続事例の妊娠期実習,分娩介助実習に必要な科目です。確かな知識と技術の修得が求められます。テキストだけでは足りないので、専門書から確かな情報を得てください。				



開設科目名	助産診断技術学Ⅱ	科目コード	MWSM902	開設期	前期
単位数(履修区分)	2単位(必修)	時間数	60時間	授業区分	講義 演習 実技
責任者	川上桂子	担当者	川上桂子、柳本朋子、浅野美智留、井口亜由、山下珠美、寺田恵子		

授業の概要(授業の目的)

分娩期の女性・胎児・新生児およびその家族を全人的に捉え、安全で肯定的な出産体験となるような援助技術を学修する。正常な経過・生理的プロセスを理解し助産過程の展開ができるよう、知識・技能・態度を学修する。正常な経過をたどる分娩の基本的介助技術を修得する。

学修の到達目標	ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連
1. 分娩の正常な経過・分娩の生理的プロセスを理解することができる。	◎1.人間の尊厳と生命の尊重 ◎2.自然性を尊重したケア/ケアリング 3.各ライフステージにおける全人的理解 ◎4.根拠に基づく実践 7.専門職としての主体性・自律性
2. ローリスクの分娩期のアセスメント・診断・ケア計画を立案できる	
3. 分娩介助の意義・原理を理解し、基本的な分娩介助技術を習得することができる。	
4. 出生直後の新生児の観察ができ、胎外生活適応状態とケアについて説明できる。	
5. 分娩の生理的プロセスを最大限に活かすケア、産婦とその家族の意思・主体性を尊重し、産婦にとってポジティブな体験となるような助産ケア/ケアリングについて理解を深めることができる。	
6. 産痛緩和やリラクゼーションの方法について述べる事ができる。	

授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)

回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	ガイダンス、分娩期の助産ケア 分娩経過、助産ケア、分娩期の心理・社会的変化	講義 (面接)	川上	予習：教科書の該当箇所を読んでおく 復習：授業内容を振り返り、復習する。	1時間
2	分娩の生理 分娩4要素とその関連性、分娩機序 分娩が母体・胎児に及ぼす影響	講義 (面接)	川上	予習：教科書・参考書の該当箇所を読んでおく 復習：授業内容を振り返り、復習する	1時間
3	分娩期アセスメントとケア① 助産診断、分娩開始、経過と分娩予測	講義 (対面)	川上	予習：教科書・参考書の該当箇所を読んでおく 適宜課題を提示します	1時間
4	分娩期アセスメントとケア② 分娩経過と予測、入院の判断、分娩第1期	講義・演習 (面接)	川上	復習：授業内容を振り返り、復習する	1時間
5	分娩期アセスメントとケア③ 分娩第1~2期	講義(面接)	川上		1時間
6	分娩期アセスメントとケア④ 分娩第3期~分娩後2時間	講義(面接)	川上		1時間
7	分娩介助技術① 分娩介助の原理、目的と準備	講義 (面接)	川上	予習：配布物、教科書・参考書の該当箇所を読んでおく Web class 動画とDVDを視聴しておく	1時間
8	分娩介助技術② 正常分娩介助法に伴う技術	講義 演習 (面接)	川上 柳本	復習：授業内容を振り返り、復習する 分娩介助手順書を作成する	1時間
9	分娩介助技術③ 分娩体位と分娩介助法			予習：教科書・参考書の該当箇所を読み、各分娩体位の特徴・介助のポイントをまとめておく。 復習：授業内容の振り返り、復習する	1時間
10	分娩介助技術④ 胎児付属物の精査と計測 記録の書き方	講義 演習 (面接)	川上	予習：教科書・参考書の該当箇所を読み、胎児付属物の機能形態を復習し、観察項目と測定方法、正常をまとめておく。 復習：授業内容を振り返り、復習する	1時間
11	産科的医療処置時のケア① 陣痛誘発・陣痛促進時のケア 胎児の健康状態の観察・アセスメント・診断・ケア	講義 (面接)	柳本	予習：教科書・参考書の該当箇所を読んでおく。 復習：授業内容	1時間
12	産科的医療処置時のケア② 無痛分娩時のケア 硬膜外麻酔の分娩経過・児への影響				1時間
13	出生直後の新生児のアセスメントとケア① 出生直後の生理的変化、胎外環境適応状態評価	講義 (面接)	井口	予習：教科書の該当箇所を読んでおく 特に、循環・呼吸の適応・アプガースコアについては必須。 復習：授業内容	1時間
14	出生直後の新生児のアセスメントとケア② 胎外環境適応支援、母児早期接触、早期授乳のケア	講義・演習 (面接)	井口 川上	予習：教科書の該当箇所を読んでおく 復習：授業内容	1時間
15	事例の展開① 分娩開始前後~入院	講義	川上	予習：事例を展開し、不足情報・疑問点を明ら	1時間

16	事例の展開② 分娩第1期～第2期	演習	柳本	かにしておく	1時間
17	事例の展開③第3期～分娩後2時間まで	〈面接〉 GW・討議		復習：事例の修正	1時間
18	産婦への支援の実際① 助産所での分娩のケア	講義 演習 〈面接〉	川上 (GS)	予習：『助産業務ガイドライン 2019』など参考書の該当箇所など参考書の該当箇所を読んでおく 課題を提示します。 復習：講義内容の振り返りと考察	1時間
19	産婦への支援の実際② 骨盤を整えるケア	講義 演習 〈面接〉	川上 (GS)	予習：教科書参考書の該当箇所を読んでおく 課題を提示します。 復習：講義内容を振り返り、復習する 自分の骨盤を整える	1時間
20	産婦への支援の実際③ 産痛緩和	講義 演習 〈面接〉	川上	予習：教科書参考書の該当箇所を読んでおく 産痛緩和法を調べておく 復習：講義内容の振り返りと考察	1時間
21	産婦への支援の実際④ フリースタイル分娩	演習 〈面接〉	寺田	予習：9でまとめた自己学習を復習しておく 配布物、教科書・参考書の該当箇所を読んでおく。DVDを視聴しておく 復習：授業内容を振り返り復習	1時間
22	分娩介助演習デモンストレーション① 分娩介助技術	講義 〈面接〉	山下	予習：配布物、教科書・参考書の該当箇所を読んでおく。Web classの指定動画を視聴しておく 復習：授業内容	1時間
23	分娩介助演習デモンストレーション② 胎児付属物の娩出、一次精査、人工破膜	実技			1時間
24	分娩介助技術演習①	実技・演習 〈面接〉	川上 柳本 浅野 井口	予習：DVD、滅菌操作（ガウン・手袋装着、導尿、器械など）、内診、胎盤計測、産婦の支援、分娩介助方法・手順を整理しておく 復習：演習を振り返り、自己の課題を明らかにし、繰り返し練習を行う	1時間
25	分娩介助技術演習②				1時間
26	分娩介助技術演習③				1時間
27	分娩介助技術演習④				1時間
28	分娩介助技術演習⑤				1時間
29	分娩介助技術演習⑥				1時間
30	分娩介助技術演習⑦				1時間
成績評価方法・基準		定期試験 60%（川上、柳本、井口）、課題 20%（川上）、実技 10% 学習態度 10%（担当教員全員）			
課題に対するフィードバック		課題は出題意図を説明し、授業内にコメントする。演習・実技は授業内または個別でコメントする。			
教科書		① 佐々木くみ子編：助産師基礎教育テキスト第5巻 分娩期の診断とケア日本看護協会出版会 最新版 ② 小林康江編：助産師基礎教育テキスト第7巻 ハイリスク妊産婦・新生児へのケア 日本看護協会出版会 最新版 ③ 細野茂春：新生児蘇生法テキスト メディカルビュー 最新版			
参考書・参考文献		・我部山キヨ子編：助産学講座3・7 基礎助産学(3)母子の健康科学・7 診断・技術Ⅱ 分娩期・産褥期 医学書院 最新版 ・北山真理子編：今日の助産 南江堂 最新版 ・分娩期ケアガイドライン翻訳チーム(2021)：WHO ポジティブな出産体験のための分娩期ケア，医学書院。 ・平澤美恵子：改訂版写真でわかる助産技術 アドバンス インターメディカ 2021 ・日本産婦人科学会/日本産婦人科医会編集(最新版)：産科婦人科診療ガイドライン 産科編。 ・日本助産学会編(2020)：エビデンスに基づく助産ガイドライン-妊娠期・分娩期、日本助産学会。 ・日本助産師会：助産業務ガイドライン 2019 日本助産師会出版 最新版 ・医療情報科学研究所編：病気が見える Vol.10 産科 メディック・メディカ 最新版 ・武谷雄二監修(最新版)：プリンシプル産科婦人科学 2 メディカルビュー ・村上明美(2015)：フリースタイル分娩介助 医歯薬出版 ・日本助産診断実践学会(2021)：マタニティ診断ガイドブック 第6版 医学書院 ・オジャスティン・ウヴェネス・モベリ 著(2014)：オキシトシン私たちのからだがつくる安らぎの物質 晶文社。 ・三砂ちづる編(2021)：「助産の本質」，南山堂。 *その他、適宜講義中に提示します。			
Q&A 学習相談 メッセージ その他		Q&A：川上 桂子水曜日，16:30～17:30 随時対応します。事前にご連絡ください。 連絡先：2号館1階 L219 メールアドレス：kawakami@stmaryacjp.onmicrosoft.com メッセージ：助産師(お産の専門家)です。母子の安全を守り、児は人生の第1歩を「優しく」迎えられ、産婦はポジティブな出産体験となるケアの実践を目指して、基本的知識と技術を身につけましょう。主体的に学び、繰り返し自己研鑽に励んでください *ICTの活用：分娩介助デモンストレーションは Web Class で確認できます。予習・復習に活用してください			

開設科目名	助産診断・技術学Ⅲ (産褥・新生児・乳幼児期)	科目コード	MWSM903	開設期	通年
単位数(履修区分)	3単位(必修)	時間数	45時間	授業区分	講義・演習
責任者	浅野美智留	担当者	浅野美智留、柳本朋子、川上桂子、井口亜由、寺田恵子		
授業の概要(授業の目的)					
産褥期の女性・新生児・乳幼児期およびその家族の主に正常経過・ローリスクの対象者への、診断とケアを行うために必要な知識・技能・態度を学修する。 産褥期に必要な健康教育についての知識と技能と態度を学修する。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1. 産褥期の女性・新生児と家族の生理的様式・自己概念・役割機能・相互依存を理解できる。			1. 人間の尊厳といのち・生命の尊重 ◎2. 自然性を尊重したケア/ケアリング 3. 各ライフステージにおける全人的な理解 ◎4. 根拠に基づく実践 ◎7. 専門職としての主体性・自律性		
2. 産褥・新生児期の事例を用いて、助産過程が展開できる。					
3. 褥婦・新生児とその家族の状況を踏まえ、個別性とケアリングを考慮した健康教育案を作成し、学内で実施・評価・修正できる。					
4. 産後の家族計画(受胎調節等)に必要な基礎知識・技能・態度を理解し、学内演習実施できる。					
5. 母乳育児確立・継続のため適切なケア/ケアリングおよび今後の支援の方向性を考察できる。					
6. 乳幼児に必要な健診・健康教育・家庭訪問についての知識・技能・態度を理解できる。					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	母児と家族への助産 母性看護学の産褥期の看護学修状況の確認 助産パラダイムとプライマルヘルス	講義 <面接>	浅野	予習:母性看護学の産褥期の看護の講義を確認して講義資料を持参する。 復習:授業内容の振り返りと考察をする。	4時間
2	産褥期の助産過程 ・産褥期の助産過程について ・産褥期の適応とフィジカルアセスメント 生理的様式	講義 <面接>	浅野	予習:テキスト①第1章と第2章「産褥期の身体変化とフィジカルアセスメント」を読む。 復習:テキスト①第2章と第3章の生理的様式に関して講義内容を相対化して考察する。	4時間
3	産褥期の助産過程の展開(事例) 産褥期の適応とフィジカルアセスメント① 生理的様式	講義 演習 <面接>	浅野	予習:テキスト①第3章から産褥期のケアの理解を深める。 復習:テキスト①第2章と第3章とテキスト②を用いて事例のフィジカルアセスメントを完成させる。	4時間
4	産褥期の助産過程の展開(事例) 産褥期の適応とアセスメント② 心理・社会的変化と親役割とセルフケア能力 産後うつスクリーニング	講義 演習 <面接>	浅野	予習:テキスト①第2章の心理・社会的変化とアセスメントと第3章の親役割とセルフケア能力を読む。 復習:テキスト①と②を用いて事例のアセスメントを完成させる。	4時間
5	新生児期の助産過程の展開 ① 新生児の適応生理とフィジカルアセスメント 母性看護学の新生児期の看護学修状況の確認	講義 演習 <面接>	井口 柳本 浅野	予習:母性看護の新生児の講義を復習して講義資料を持参する。テキスト①第1章、第2章、第3章を読む。 復習:授業内容の振り返りと考察をする	4時間
6	新生児期の助産過程の展開(事例) ② 新生児期の助産過程の展開 子宮外生活への適応	講義 <面接>	井口	予習:教科書の該当箇所、指定の文献を読む 復習:授業内容の振り返りと考察をする	4時間
7	新生児期の診断とケア(事例) ③ 新生児期の助産過程の展開 行動上の特徴	講義 演習 <面接>	井口	予習:教科書の該当箇所、指定の文献を読む 復習:授業内容の振り返りと考察をする	4時間
8	新生児期の診断とケア(事例) ④ 新生児の看護過程の展開 新生児のニーズとケア	演習 <面接>	井口	予習:教科書の該当箇所、指定の文献を読む 復習:授業内容の振り返りと考察をする	4時間
9	母乳育児支援 ① 乳汁生成Ⅰ期・Ⅱ期のケア	講義 <面接>	浅野	予習:テキスト①第4章1・2読む。 復習:授業内容の振り返りと考察をする。	4時間

10	母乳育児支援 ② 児の母乳吸啜	講義 <面接>	浅野	予習：テキスト①第4章3・4を読む。 復習：授業内容の振り返りと考察をする。	4時間
11	母乳育児支援 ③ 事例・アセスメント・診断	講義 <面接>	浅野	予習：講義9と10を振り返る。 復習：授業内容の振り返りと考察をする。	4時間
12	母乳育児支援 ④ 母乳BSケア 授乳姿勢	講義 演習 <面接>	寺田	予習：講義9～11を振り返る。事前配布資料を読む。 復習：実習に役立てる。	4時間
13	産褥・新生児期の健康教育（事例） 産褥期の健康教育について 企画書・健康教育案・パンフレット・教材の作成1 ①沐浴 ②退院時 ③家庭訪問・家族計画	講義 GW <面接>	浅野 井口	予習：参考文献③（助産診断・健康教育）を読む。ケア/ケアリング、プライマルヘルスを振り返り、GWに向けて準備性を高める。 復習：GWの自己担当部分の作業を行う。テキスト②の実践的理解を深める。 テキスト①第6章家族計画を読んでおく。	4時間
14	産褥・新生児期の健康教育（事例）	演習 GW	浅野	復習：GWの自己担当部分の作業を行う。	4時間
15	企画書・健康教育案・パンフレット・教材の作成2	<面接>	井口	テキスト②の実践的理解を深める。	
16	3グループにわかれて①～③GW ①沐浴 ②退院時 ③家庭訪問・家族計画				
17	産褥・新生児期の健康教育（事例）発表前準備 企画書・指導案 チェック・印刷・配布 必要物品や配置等 チェック・印刷・配布	演習 GW <面接>	浅野 井口	復習：GWの自己担当部分の作業を行う。	4時間
18	産褥・新生児期の健康教育（事例）発表準備・発表	発表	浅野	復習：実習で健康教育が実践できるように、	4時間
19	グループが①～③のいずれかを担当して発表 ①沐浴 ②退院時 ③家庭訪問・家族計画	<面接>	柳本 川上 井口	全体の振り返りと考察をする。	
20	産褥期・新生児期の健診・健康教育 産後2週間・産後1か月健診	講義 <面接>	川上	予習：テキスト①第5章を読む。 復習：授業内容の振り返りと考察をする。	4時間
21	乳幼児期の発達と健診	講義 <面接>	井口	予習：テキスト①第5章を読む。 復習：授業内容の振り返りと考察をする。	4時間
22	産褥・新生児・乳幼児期 退院後の母子・家族への健康支援について	講義 <面接>	浅野 (GS)	予習：全体を通しての学修を振り返っておく 復習：今後の助産ケアの展望を考察する。	4時間
23	母乳育児支援 逸脱時のケア	講義 <面接>	浅野	予習：テキスト①授乳中に起こりやすい問題を読む。 復習：実習に役立てる。	4時間
成績評価方法・基準	定期試験 筆記試験 前期前半：60% （評価者：浅野 30% 井口 30%） 課題（企画書・健康教育案）レポート：20% （評価者：浅野） 発表（健康教育）評価：10% （評価者：浅野・柳本・川上・井口） 授業態度・授業への参加度：10% （評価者：担当者全員）				
課題に対するフィードバック	・課題レポートや発表に対して、必要に応じて Web 上でフィードバックを行います。 ・単位認定試験は模範解答を示して返却します。				
教科書	① 江藤宏美：産褥期のケア 新生児期・乳幼児期のケア，日本看護協会出版会，最新版（書籍/電子版）				
参考書・参考文献	① 齋藤純子：まってるね赤ちゃん，笑がお書房，最新版。 ② 寺田恵子、浅野美智留：BS ケア基本の型，日総研出版，最新版 ③ 寺田恵子、浅野美智留：BS ケア特殊な型，日総研出版，最新版 ④ 堀内 成子・片岡弥恵子編：助産学講座 5，助産診断・技術学 I，医学書院，最新版（書籍/電子版） ⑤ 北川真理子，今日の助産，南江堂，最新版 ⑥ Neo-Nursing 研究会，ロイの看護診断を用いた母性看護過程，三省堂書店，最新版。他 適宜資料配布いたします。				
オフィス 学修相談 メッセージ その他	浅野美智留 水曜日 12:10～13:10 随時受け付けます。浅野美智留 連絡先：7号館2階 L723 メールアドレス asano@stmaryacjp.onmicrosoft.com 今後の専門職としての助産過程・健康教育の助産実践の基礎の修得科目です。 その他：この科目は助産職として実務経験を有する教員が助産について教授する科目です。 浅野著（共著）「児の母乳吸啜に基づく乳房ケア」を引用して、乳房ケアを具体的に教授します。				

開設科目名	地域・国際母子保健学	科目コード	MWSM904	開設期	通年
単位数(履修区分)	2単位(必修)	時間数	30時間	授業区分	講義
責任者	川上桂子	担当者	川上桂子、浅野美智留、秦野環、谷口初美、 笹川恵美、清水知子、対馬真弓、執行理恵		
<b>授業の概要(授業の目的)</b>					
地域で母子保健活動を展開するために、地域における看護職(保健師・助産師・看護師)の活動の実際および他職種との協働・連携の実際について学修する。特に、安心して産み育てることができる地域の基盤づくりにおける助産師の役割・責務・今後の展望について考察を深められるよう学修する。 諸外国世界における母子保健上の健康課題の現状や課題と、助産師の国際的な母子保健活動の実際について学修する。					
<b>学修の到達目標</b>			<b>ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連</b>		
1. 母子保健の現状と動向、課題について理解できる。			◎1. 人間の尊厳と生命の尊重		
2. 日本の母子保健行政のしくみ・制度・施策を述べることができる			2. 自然性を尊重したケア/ケアリング		
3. 地域での母子保健活動と他職種との協働・連携の実際について理解できる。			3. 各ライフステージにおける全人的理解		
4. 国際社会における助産師の組織と活動についての述べることができる			4. 根拠に基づく実践		
5. 各国における文化や慣習が人々の健康に与える影響をリプロダクティブ・ヘルス/ライツの観点から考察できる。			◎5. 他職種との協働・連携		
6. 国際的な助産師の母子保健活動から「出産」及び「助産」の普遍性について考察できる。			◎6. 多様性を尊重した地域・国際社会への貢献		
7. 地域・国際母子保健における助産師の役割と展望について考察できる			7. 専門職としての主体性・自律性		
<b>授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等) * 遠隔授業の方法: Zoomによる双方向型</b>					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	オリエンテーション 母子保健の現状、動向と課題	講義 (面接)	川上	予習: 教科書① 第1・2章、6章Aを読み、母子保指標を学習しておく 復習: 授業内容を振り返り復習しておく	4時間
2	母子保健行政の体系① 日本の母子保健行政と制度の概要	講義 (面接)	川上	予習: 教科書① 第3章を読み、母子保健に関する法律・制度・施策を調べておく 復習: 授業内容を振り返り復習しておく	4時間
3	地域母子保健行政の体系②: 日本の母子保健施策とその変遷、 地域母子保健活動の基盤	講義 (面接)	川上	予習: 教科書① 第3章・4章を読む 復習: 授業内容を振り返り復習しておく	4時間
4	行政での地域母子保健活動と他職種連携の実際①: 久留米市の母子保健行政のしくみ・制度・施策、他職種連携・協働、女性のライフサイクルへの支援・妊産婦訪問指導の理論と実際	講義 (面接)	清水	予習: 教科書① 第5章、 久留米市の出生数、母子保健分野の計画「第2期健康くるめ21」「第2期プラン」を一読しておく 復習: 授業内容を振り返り、復習しておく	4時間
5	行政での地域母子保健活動と他職種連携の実際② 久留米市の母子保健活動・新生児・褥婦訪問指導・乳幼児全戸訪問事業・特定妊婦、DV、児童虐待への支援	講義 (面接)	対馬	復習: 授業内容を振り返り、復習しておく	4時間
6	行政での地域母子保健活動と他職種連携の実際③ 久留米市の母子保健活動・母子健康手帳交付時の保健指導・出生後の手続き・申請等への支援・災害時/コロナ対策の地域母子保健活動の実際	講義・GW・ 討議 (面接)	執行		4時間
7	地域における開業助産師の母子保健活動論 地域組織活動・子育て支援活動	講義 討議 (面接)	浅野	予習: 教科書① 第3~5章関連 復習: 授業内容を振り返り、復習しておく	4時間
8	地域における開業助産師の活動の実際 地域子育て支援活動・産後ケア	講義 討議 (面接)	浅野	予習: 教科書① 第5章関連 復習: 授業内容を振り返り、復習しておく	4時間
9	諸外国の母子保健の現状と課題、施策 母子保健施策の変遷 SDG s 在日外国人の母子保健	講義 (面接)	川上	予習: 教科書①第6章を読んでおく 復習: 授業内容を振り返り、復習	4時間
10	移動を余儀なくされた人々の母子保健に関する課題	講義 (面接)	秦野	予習: UNHCR、UNOCHAなどのサイトを閲覧し、興味のある国の母子保健に係る指標・状況を調べておく 復習: 授業内容の振り返りと考察	4時間

11	母子保健・リプロダクティブ・ヘルス/ライツと世界水準	講義 (面接)	浅野	予習：教科書の該当箇所を提示するので読んでおく。 復習：授業内容の復習	4 時間
12	国際社会における助産師の活動① 国際社会における助産師の組織と活動 ICM (国際助産師連盟) 他 国際社会における助産師の活動 日本の助産師への期待と貢献など	講義	谷口	予習：ICM 発行文章を一読しておく 復習：授業内容の振り返りと考察	4 時間
13	国際社会における助産師の活動② 日本における国際社会へ向けた取り組み 「人間的なお産」の実現に向けたプロジェクト活動など	講義 (遠隔)	笹川	予習：提示した文献を読む 復習：授業内容の振り返りと考察	4 時間
14	地域母子保健活動まとめ 地域での母子保健活動と課題	発表 講義 (面接)	川上 浅野	予習：発表準備 復習：授業内容の振り返りと考察	4 時間
15	国際母子保健活動のまとめ 「出産」「助産」の普遍性 助産師の役割と展望	講義 討議 (面接)	川上 浅野	課題：提示した文献を読んでおく 復習：授業内容の振り返り課題レポート	4 時間
成績評価方法・基準	①課題成果・発表 40% (評価者：川上、浅野) ②課題レポート40% (評価者：浅野、川上) ③授業態度・参加度 20%評価者 (担当者:全員) 課題は講義内で提示します				
課題に対する フィードバック	・講義内で総評や今後の学習アドバイスを行う ・発表・レポート課題は講義内もしくは後日提示する ・課題の出題意図の説明を講義中に行う、または後日提示する				
教科書	①我部山キヨ子編：助産学講座 9、地域母子保健・国際母子保健、医学書院、最				
参考書・参考文献	・福井トシ子編：新版 助産師業務要覧、アドバンス編、最新版。 ・工藤美子編：助産師基礎教育テキスト第 1 巻 助産概論、日本看護協会出版会、最新版。 ・分娩期ケアガイドライン翻訳チーム (2021)：WHO 推奨 ポジティブな出産体験のための分娩期：ケア、医学書院。 ・マーズデンワグナー著 (2002)：WHO 勧告に見る望ましい周産期ケアとその根拠、メディカ出版。 ・戸田律子訳 (1997)：WHO の 59 条 お産のケア 実践ガイド、農文協。 ・三砂ちづる編 (2021)：助産の本質、南山堂。 *その他適宜文献をご紹介します。				
オフィス 学習相談 メッセー その他	オフィス：川上 桂子水曜日、16:30~17:30 随時対応します。事前にご連絡ください。 連絡先：2 号館 1 階 L219 メールアドレス：kawakami@stmaryacjp.onmicrosoft.com メッセージ：地域・国際母子保健活動を行う上での基盤となる科目です。国内外の母子の現状や助産師の母子保健活動に目を向け、グローバルな視点で「助産」について一緒に考えていきましょう。				

開設科目名	助産管理学	科目コード	MWSM905	開設期	通年
単位数(履修区分)	2単位(必修)	時間数	30時間	授業区分	講義
責任者	浅野美智留	担当者	浅野美智留、川上桂子、斉藤由香、堀内成子、寺田恵子		
授業の概要(授業の目的)					
周産期医療におけるチーム医療の理念のもとに、対象の安全・安心・満足を支えるための助産管理の概論・基本理念について学修する。 様々な助産活動の場(具体的には助産所、診療所、病院)において助産施設管理者が行う助産管理の実際(業務管理、事故防止、救急対応、災害看護、感染対策、リスクマネジメント)について学修する。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1. 助産施設管理者が行う助産管理の実際について理解・考察できる。			1. 人間の尊厳といのち・生命の尊重		
2. 母子とその家族の安心・安全・満足を支えるための助産管理システム・就業環境・業務・条件整備の意義について理解し考察できる。			◎2. 自然性を尊重したケア/ケアリング		
3. 自立した実践(院内助産・助産所)の管理、運営の実際および助産師の役割について理解し、考察できる。			3. 各ライフステージにおける全人的な理解		
4. 総合周産期母子医療センターにおける施設の構造、設備、運営、助産管理について理解・考察できる。			4. 根拠に基づく実践		
			◎5. 他職種との協働・連携		
			6. 多様性の尊重した地域・国際貢献		
			◎7. 専門職としての主体性・自律性		
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)*遠隔授業の方法:Zoom/Teamsによる同時双方向型					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	助産管理とは 助産師の活動と法的責任	講義 <面接>	浅野	予習:テキスト第1章・A助産管理の基本と助産業務管、第2章関連法規と助産師の義務・責任を読む。 復習:授業内容の振り返りと考察をする。	4時間
2	助産サービスにおける質の保証 1) 周産期医療体制と助産業務管理	講義 <面接>	斎藤	予習:テキスト第1章・B助産業務管理の方法、第3章周産期医療体制と地域連携を読む。 復習:授業内容の振り返りと考察をする。	4時間
3	助産サービスにおける質の保証 2) 助産業務管理 病棟管理	講義 <面接>	斎藤	予習:テキスト第5章・A周産期棟・混合病棟の管理を読む。 復習:授業内容の振り返りと考察をする。	4時間
4	助産サービスにおける質の保証 3) 周産期管理システムとリスクマネジメント	講義 <面接>	斎藤	予習:テキスト第4章・A助産師が行う安全対策と医療事故防止を読む。 復習:授業内容の振り返りと考察をする。	4時間
5	助産サービスにおける質の保証 4) 院内助産・院内助産院の管理	講義 <面接>	浅野	予習:第5章・B院内助産・院内助産院の管理を読む。 復習:授業内容の振り返りと考察をする。	4時間
6	助産サービスにおける質の保証 5) 助産所における助産サービス管理の実際	講義 <面接>	寺田	予習:テキスト第6章助産所における助産業務管理を読む。 復習:授業内容の振り返りと考察をする。	4時間
7	助産サービスにおける質の保証 6) 助産師の活動範囲のひろがりと展望	講義 <面接>	寺田	復習:テキスト「開業助産師と周産期センターとのオープンシステム p83~90」と講義内容を相対化して考察する。	4時間
8	総合周産期母子センターにおける助産管理の実際	講義 <面接>	浅野 (GS)	復習:第5章・A周産期棟・混合病棟の管理と講義内容を相対化して考察する。	4時間
9	Women-centered Care 我が国における助産管理の現状と課題	講義 <遠隔>	堀内	復習:テキスト「日本助産評価機構 p14 医師との連携 p23 業務 p39」、参考書②「意思決定支援」と相対化して講義内容を考察する。	4時間
10	周産期医療における質と安全の保証	講義 <面接>	堀内	復習:テキスト「チーム医療と職種間・地域の連携 p83~」と相対化して講義内容を考察する。	4時間
11	リーダーシップ:起業・変革・改善①	講義 <面接>	堀内	復習:テキスト第1章助産管理の基本と助産業務管理のB所産業務管理を読み、講義内容(サービスを創るリーダーシップ)と相対化して考察する。	4時間
12	リーダーシップ:起業・変革・改善②	GW <面接>	堀内	復習:テキスト第3章・Bチーム医療と職種間・地域の連携と相対化してGWを考察する。	4時間

13	災害時の助産管理	講義 <面接>	川上	予習：第4章・B 災害対策を読む。 復習：授業内容の振り返りと考察をする。	4 時間
14	日本の助産業務管理の課題	演習 <面接>	浅野	予習：講義資料を振り返る 復習：発表課題に対して発表資料を作成する。	4 時間
15	日本の助産業務管理の課題と今後の展望	発表 討議 <面接>	浅野	予習：発表課題に対して発表資料を作成する。 復習：授業全体の振り返りと考察をする。	4 時間
成績評価方法・基準		単位認定試験：筆記試験 30% (評価者：浅野 20%、川上 10%) 課題レポート：30% (評価者：浅野) 課題発表：30% (評価者：浅野) 授業態度・授業への参加度：10% (評価者：担当者全員)			
課題に対する フィードバック		・課題レポートや発表に対して、必要に応じて Web 上でフィードバックを行います。 ・単位認定試験は模範解答を示して返却します。			
教科書		我部山キヨ子編：助産学講座 10, 助産管理 [10] 医学書院, 最新版 (書籍/電子版).			
参考書・参考文献		①福井トシ子編：[新版] 助産師業務要覧: I 基礎編 II 実践編 III アドバンス編, 日本看護協会出版会, 最新版. ②堀内 成子・片岡弥恵子編：助産学講座 5, 助産診断・技術学 I, 医学書院, 最新版 (書籍/電子版) 各授業内容に応じて、参考書・参考文献を提示いたします。			
オフィス 学修相談 メッセージ その他		浅野美智留 水曜日 12:10～13:00 7号館 2階 L723 メールアドレス asano@stmaryac.jp.onmicrosoft.com 質問、相談等：授業終了後など、随時、教室やオンラインメール・チャットにて受けます。 メッセージ：助産管理は、助産サービスの質を向上させて対象者を大切に、私たち働く助産師自身もケアします。テキスト p23 には ケアリングについても書かれています。法的根拠など難しい点もありますが、助産の現場をより良くするために共に考えて行きましょう。 その他：この科目は助産職として実務経験を有する教員が助産について教授する科目です。 開業や NPO 法人 BS ケア運営経験も例示して、助産管理について教授します。			



開設科目名	基礎助産学実習	科目コード	MWSM906	開設期	前期
単位数(履修区分)	5単位(必修)	時間数	225時間	授業区分	実習
責任者	柳本朋子	担当者	柳本朋子、川上桂子、桃井雅子、浅野美智留、井口亜由		
授業の概要(授業の目的)					
妊産褥婦を全人的にとらえ、正常な経過をたどる分娩を中心とした助産過程の実践を系統的に行う。継続的に女性・胎児・新生児およびその家族を受け持ち、助産過程の展開を通して個別性の高い助産について学修する。					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
1. 妊娠経過に伴う妊婦および胎児の身体的・心理社会的基本的ニーズを充足するためのケアを、実践を通して理解し、計画・実施することができる。				◎1.人間の尊厳と生命の尊重 ◎2.自然性を尊重したケア/ケアリング 3.各ライフステージにおける全人的理解 ◎4.根拠に基づく実践 5.他職種との協働・連携 6.多様性を尊重した地域・国際貢献 7.専門職としての主体性自律性	
1) 妊娠期の診断における診査方法を理解し、時期診断・経過診断ができる。					
2) 妊娠期に必要な個別性に応じた健康教育について理解できる。					
2. 分娩の三要素、産婦の情報から分娩開始、分娩時期診断、分娩進行経過の予測と課題を診断することができる。					
1) 産婦およびその家族の身体的・心理社会的基本的ニーズを充足するケアを理解し、助産師の助言を得ながら、計画・実施することができる。					
2) 基本的な分娩介助技術を用いて、助産師の指導のもと、分娩介助の一連の流れを実施することができる。					
3. 褥婦および新生児の身体的・心理社会的基本的ニーズを充足するケアを、実践を通して理解し、計画・実施することができる。					
4. 妊娠から産褥 1 か月迄の女性と胎児・新生児およびその家族への個別性の高いケアを、実践を通して理解し、計画・実施することができる。					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
	助産学実習要領参照 ①産科外来通院中の妊婦の妊婦健診における助産師の役割について考察する 妊婦健診、健康教育の実施 妊娠各期の妊婦健診の健康教育の実施 ②分娩期助産過程の展開 1～3 例の分娩介助の段階にあり、分娩期における基本的な助産過程を展開する。助産師・教員と共に助産過程を振り返り、対象者中心の助産過程について考察する。 情報収集 分娩時期診断、分娩経過診断 助産ケア計画・実施・介入 ③産科病棟入院中の産褥期および新生児の退院までのケア計画の実施・評価 ④妊娠から産褥 1 か月迄の妊婦と胎児・新生児およびその家族を継続的に受け持ち、継続的な助産過程を展開する	実習	柳本 川上 桃井 浅野 井口	実習要領を熟読しておく 前期の講義内容を復習しておく 繰り返し分娩介助練習を行っておく	
成績評価方法・基準	助産学実習評価に基づき評価する 100% (担当者全員)				
課題に対するフィードバック	この科目は臨床指導助産師および教員から常にタイムリーにフィードバックします。				
教科書	①助産師基礎教育テキスト 第4・5・6・7巻, 日本看護協会出版会, 最新版 ②田村正徳: 新生児蘇生法テキストメジカルビュー, 最新版				
参考書・参考文献	日本産婦人科学会/日本産婦人科医会編集: 産科婦人科診療ガイドライン, 最新版 井上裕美他監修: 病気がみえる 10 産科, メディックメディア 最新版 我部山キヨ子他: 助産学講座3・4・5・6・7・8巻, 医学書院 最新版 北川眞理子他: 今日の助産, 南江堂, 最新版 平澤恵美子監修: 写真でわかる助産技術アドバンス, インターメディカ, 最新版				
オフィス学習相談 メッセージ その他	柳本朋子 火曜日 16:30 ~ 17:30 上記時間帯以外にも可能な時間であれば随時対応いたします。事前にご連絡ください。 連絡先: 2号館 L218 メールアドレス: yanagimoto@stmaryacjp.onmicrosoft.com メッセージ: 助産学のコアとなる学修時間になります。分娩介助技術のみでなく、妊娠期のケアおよび胎児も含めたご家族へのケアリングをコアに据えて実習に臨んでください。継続事例実習では一人の妊婦を継続して受け持ち、助産過程を展開します。対象者とその家族に真摯に向き合い、継続して寄り添うことの重要性について学修しましょう。				

開設科目名	発展助産学実習	科目コード	MWSM907	開設期	通年
単位数(履修区分)	5単位(必修)	時間数	225時間	授業区分	実習
責任者	柳本朋子	担当者	柳本朋子、川上桂子、桃井雅子、浅野美智留 井口亜由		
授業の概要(授業の目的)					
基礎助産学実習で修得した基礎的知識・技術・態度を統合・発展させ、助産過程の展開を通して、ハイリスク妊娠/ハイリスク分娩の女性・胎児・新生児およびその家族への助産ケアを学修する。さらに、産科学・新生児学・助産学におけるエビデンスに基づいた助産過程の展開と、助産過程を通してケアリング能力を高めるための学修をする。					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
1. 妊娠・分娩・産褥期にある対象者とその家族の身体的・心理社会的健康状態、胎児・新生児の成長発達および健康状態について、的確な臨床判断に基づいた助産過程が展開できる。 1) 基本的な分娩介助技術を用いて、助産師の指導のもと、分娩介助の一連の流れを主体的に実施することができる。 2) 乳房の生理的变化、新生児の状態に合わせて適切な母乳育児支援を立案し、実施・評価できる。 3) 妊娠期から産褥 1 か月迄の女性と胎児・新生児およびその家族への個別性の高い助産過程を展開できる。 3. 相談・教育・ケア技術を用いて、継続的で対象の個性を尊重した安全・安楽なケアを実践できる。 4. ハイリスク妊産婦と胎児・新生児およびその家族を受け持ち助産過程の展開ができる。 5. NICU の特徴、入院している子どもと家族へのケアについて理解できる。 6. 対象者の尊厳を遵守し、QOL を高めるケアについて振り返りができる。 7. 産科病棟における夜間の患者管理について実践を通して実施・考察することができる。				◎1.人間の尊厳と生命の尊重 ◎2.自然性を尊重したケア/ケアリング 3.各ライフステージにおける全人的理解 ◎4.根拠に「基づく実践 5.他職種との協働・連携 6.多様性を尊重した地域・国際貢献 7.専門職としての主体性自律性	
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
	助産学実習要項参照 <分娩介助実習> 【前半】 4～6 例目の分娩介助の段階にあり、分娩期における助産過程を発展的に展開する 1) 助産過程の展開(発展的な知識・技術の習得) 情報収集(分娩の4要素) 分娩時期診断、分娩経過診断 助産ケア計画・実施・評価 産婦への個別的ケア 2) 退院までの母子のケア計画・実施・評価 3) 健康教育の実施・評価(集団指導、退院指導、沐浴指導等) 【後半】 7～10 例目の分娩介助の段階にあり、分娩期における助産過程を応用的・自立的に展開する <継続事例実習> 基礎助産学実習に引き続き助産過程を展開する <ハイリスク実習> MFICU におけるハイリスク妊産婦の助産過程の展開 NICU におけるハイリスク新生児に対するケアの見学 <夜間管理実習> 産科病棟における夜間の助産管理についてシャドーイングを通して理解する	実習	柳本、 川上 桃井 浅野 井口	実習要領を熟読しておく 前期の講義内容を復習しておく ケースの振り返りを必ず行う	
成績評価方法・基準	助産学実習評価に基づき評価する 100% (担当者全員で評価)				
課題に対するフィードバック	この科目は臨床指導助産師および教員から常にタイムリーにフィードバックします。				
教科書	①助産師基礎教育テキスト 第4・5・6・7巻, 日本看護協会出版会, 最新版 ②田村正徳: 新生児蘇生法テキストメジカルビュー, 最新版				

<p>参考書・参考文献</p>	<p>日本産婦人科学会/日本産婦人科医会編集：産科婦人科診療ガイドライン，最新版          井上裕美他監修：病気がみえる 10 産科，メディックメディア 最新版          我部山キヨ子他：助産学講座 3・4・5・6・7・8 巻，医学書院 最新版          平澤恵美子監修：写真でわかる助産技術アドバンス，インターメディカ，最新版          北川眞理子他：今日の助産，南江堂，最新版</p>
<p>ワイアー          学習相談          メッセージ          その他</p>	<p>柳本朋子：火 曜日 16：30 ～ 17：30          記時間帯以外でも可能な時間であれば随時対応します。事前にご連絡ください。          連絡先：2号館 L218 メールアドレス：yanagimoto@stmaryacjp.onmicrosoft.com          メッセージ：助産学のコアとなる学修ですが、分娩介助技術偏重にならないよう、分娩介助をさせていただくことへの感謝や畏敬の念を育んでください。命の誕生に真摯に向き合い、責任を持てるために、自分を育てさせてもらう姿勢で実習をしてください。身体・精神・社会的なハイリスク状態や合併症を持つ妊産褥婦のケア、切れ目ない支援や多職種連携も含めたケアについて実習を通して学修してください</p>

開設科目名	地域・国際母子保健学実習	科目コード	MWSM908	開設期	通年
単位数(履修区分)	2単位(必修)	時間数	90時間	授業区分	実習
責任者	川上桂子	担当者	川上桂子、柳本朋子、浅野美智留、井口亜由		
授業の概要(授業の目的)					
地域において助産師が実践している母子保健活動に参画し、地域で生活する女性とその家族の生涯にわたる健康教育・健康支援・子育て世代包括支援について学修する。 地域国際母子保健における助産師の役割・責任(地域との連携・協働)についての考察を深める。 産後/産後から1ヵ月～産後/産後4ヵ月程度までの母子の個別性の高い助産過程を展開する。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1.地域における母子保健事業および母子保健活動の実際について理解できる。			◎1. 人間の尊厳と生命の尊重 ◎2. 自然性を尊重したケア/ケアリング 3. 各ライフステージにおける全人的理解 4. 根拠に基づく実践 ◎5. 他職種との協働・連携 ◎6. 多様性を尊重した地域・国際社会への貢献 7. 専門職としての主体性・自律性		
2.地域で生活する妊娠期から子育て中の母子とその家族の現状を理解する					
3.母子とその家族に対する支援について考察できる。					
4.地域で活動する助産師の母子保健活動より地域・他職種との連携・協働を説明できる。					
5.助産師が行う「いのちの授業」に参画して、助産師が行う教育活動について考察できる					
6.地域での助産師の活動を通し、助産実践力の強化を図る。					
7.助産師の地域で果たす役割について考察できる。					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	担当者	方法	予習・復習(学習課題)	取組時間
	【実習先】 ①助産所 分娩を取り扱う助産院と取り扱わない助産院(母乳育児ケアのみ)の2か所実習 ②小・中学校での助産師が行ういのちの授業 ③行政(久留米市)の子育て支援(会議・窓口、地域支援) 【実習の展開】 1)事前学習 2)地域で活動する助産師の母子ケア、健康・育児相談、その他の教育活動に参画する 3)助産師の地域で果たす役割について考察しレポートにまとめる。 4)学生間で経験を共有する *5)JICA 青年研修実施の場合、学生が分娩介助デモンストレーション、プレゼンテーションなどを行うことがあります	川上 柳本 浅野 井口	実習	・実習要項およびオリエンテーション資料を読んでおく ・各実習先より事前学習課題が提示される。 関連する教科書・参考書・文献をよみ事前課題に取り組む。 ・日々録 ・課題レポート	10時間 以上
成績評価方法・基準	助産実習評価表(70%)、レポート(30%) (担当教員)				
課題に対するフィードバック	実習中および実習終了後にフィードバックを行う。				
教科書	①我部山キヨ子編 助産学講座9 地域母子保健・国際母子保健 最新版 ②助産師基礎教育テキスト 第1・3・4・5・6巻 日本看護協会出版会 最新版				
参考書・参考文献	・我部山キヨ子編：助産学講座1・3・7・9 医学書院 最新版 ・寺田恵子：いのちの授業 学研プラス 2011 ・寺田恵子：BS ケア基本の型—赤ちゃんの母乳吸啜メカニズムに基づく乳房ケア 日総研 2017 ・平田喜代美：おっぱい110番 たま出版、平成11年 ・世界保健機関(著)：UNICEF/WHO 赤ちゃんとお母さんにやさしい母乳育児支援ガイド ベーシック・コース—「母乳育児成功のための10カ条」の実践 医学書院 2009 適宜提示します。				
ワイアワー 学習相談 メッセージ その他	ワイアワー：川上 桂子水曜日、16:30～17:30 随時対応します。事前にご連絡ください。 連絡先：2号館1階 L219 メールアドレス kawakami@stmaryacjp.onmicrosoft.com メッセージ：この実習は、地域での母子の生活に触れ、地域における多様な助産師の活動・多職種連携の実際や、開業助産師の知恵と技を学ぶ貴重な機会です。自己の目標を明確にして積極的に実習に臨みましょう。				

開設科目名	助産学研究	科目コード	MWSD901	開設期	通年
単位数 (履修区分)	2 単位 (必修)	時間数	60 時間	授業区分	講義・演習
責任者	柳本 朋子	担当者	柳本朋子、川上桂子、桃井雅子、堤 千代、浅野美智留 片岡弥恵子		

授業の概要 (授業の目的)

研究に関する理論や根拠 (Evidence-based Midwifery) に基づいて、対象にとって最良のケアを実践するために、助産実践における EBM (Evidence-based midwifery) の重要性を理解し、その基本的な考え方やプロセス、活用方法について学修する。

助産実践上の問題を明らかにし研究課題として発展させ、解決に向けた研究を遂行し論文にまとめる基礎的能力を養うために、助産学に広く関連した課題について、事例及び文献研究を行い助産実践への応用について学修する。

学修の到達目標

ディプロマポリシー (学位授与の方針) との関連

1. 研究のプロセスに則り、助産実践の基盤構築につながる研究の過程が展開できる。
2. 対象者の人権を尊重し、倫理的配慮のもとに研究が実践できる。
3. 対象に最善のケアを提供するうえで、“助産実践における根拠にもとづくケア”のための助産学研究の意義、系統的文献検索方法および実際研究方法について理解・考察できる。
4. 助産実践における Evidence-based Nursing および Evidence-based Midwifery の基本となる考え方やステップ、活用方法を理解できる。
5. 研究で得られた知見を、今後の看護・助産ケアに活用できるよう考察できる。
6. 研究をまとめ、発表することができる。
7. 研究発表会において、他者の意見を聞き、自・他の研究成果を考察・評価できる。

1. 人間の尊厳といのち・生命の尊重
2. 自然性を尊重したケア/ケアリング
3. 各ライフステージにおける全人的な理解
- ◎ 4. 根拠に基づく実践
5. 他職種との協働・連携
6. 多様性の尊重した地域・国際貢献
- ◎ 7. 専門職としての主体性・自律性

授業計画 (授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等) \*遠隔授業の方法: Zoom/Teams による同時双方向型

回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	助産研究とは 研究のプロセスについて 研究デザインの紹介	講義 <面接>	柳本	予習: テキスト該当箇所、参考文献を読んでおく。 復習: 助産領域で何を“課題”とするか考える。	2 時間
2	研究テーマの選定 研究計画書について	講義 <面接>	柳本	予習: 関心のあるテーマについて文献を読んでおく。参考図書を読んでおく。 復習: 何を研究課題とするか考える。	2 時間
3	系統的文献検索について	講義 <面接>	桃井	予習: 関心のある研究テーマについて文献検索を試みる。 復習: 授業を振り返り検索方法の理解を深める。	2 時間
4	量的研究	講義 <面接>	堤	予習: 参考文献 黒田裕子の看護研究 step by step 2 章~5 章を読んでおく。 復習: 授業を振り返り、理解を深める。	2 時間
5	文献のクティーク (量的研究) 文献の吟味 (量的研究)	講義 <面接>	桃井	予習: 配布された資料を読んでおく。 復習: 授業を振り返りクティークの意味・意義と方法の理解を深める。	2 時間
6	助産学各研究 各ゼミ別 研究活動計画	演習 <面接>	柳本 川上	予習: グループ討議で研究内容を深める上でのスケジュールを考えておく。 復習: 各自の計画を考える。	2 時間
7	各ゼミ別 研究活動計画 (文献検索)	講義 <面接>	柳本 川上	予習: 各自の研究計画を考える。 復習: 関連の文献を読み、理解を深める。	2 時間
8	各ゼミ別 研究活動 (文献検索)	演習 <面接>	柳本 川上	予習: 自らの研究テーマに沿った研究論文を検索・選択し、吟味したものをクティーク用に準備する。 復習: 整理・考察を深める。	2 時間
9					
10	助産実践における根拠にもとづくケアのために 1 1) 【EBN・EBM の考え方やステップ、活用方法】 ①EBN・EBM の考え方、問題の定式化 ②文献検索	講義・演習 <遠隔>	片岡	予習: Web 課題資料を精読する。 復習: 参考図書・資料の復習・課題を実施する。	4 時間
11					
12	助産実践における根拠にもとづくケアのために 2 ①エビデンスの吟味と適用 ②量的研究論文のクティーク	講義・演習 <遠隔>	片岡	予習: Web 課題の実施・確認する。 復習: 資料の復習・課題の振りをする。	4 時間
13					

14	各自のテーマにそった文献検索抽出	演習 発表 <面接>	柳本 川上	予習：前回の授業の学びを統合整理し、自分の研究課題（仮）を考察する。 復習：各自のテーマにそった文献検索抽出の中からクリティークしたい文献を考える。	2 時間
15	各ゼミ別 研究活動 （文献のクリティーク）	演習 <面接>	柳本 川上	予習：各自のテーマにそった文献検索抽出の中からクリティークしたい文献を抽出し、事前に印刷・配布・精読しておく。 復習：活動を振りかえり・考察する。	4 時間
16 17	各ゼミ別 研究活動 （研究計画書作成）	演習 <面接>	柳本 川上	予習：クリティークした文献をもとに研究計画書を考える 復習：研究スケジュールを作成し、研究計画書を立案する	4 時間
18 19	各ゼミ別 研究活動 （研究計画作成・中間発表会 準備）	演習 <面接>	柳本 川上	予習：各自の助産学研究計画書案を整理しゼミ内報告、Power Point を準備する。 復習：ゼミでの意見を振り返り・修正する。 研究計画書の提出	4 時間
20	中間発表会 （研究テーマ・研究計画書報告）	発表 討議 <面接>	柳本 川上	予習：各自の研究計画について、発表資料を完成・印刷準備する。 復習：全体意見を振りかえり、考察修正する。	2 時間
21 ～ 26	各ゼミ別 研究活動	演習 <面接>	柳本 川上	予習：各自の研究活動・論文作成の準備をする。 復習：各自の活動とゼミでの意見を振り返り、考察を深める。	2 時間
27 28	最終発表会 準備	演習 <面接>	柳本 川上	予習：論文・一次抄録・最終発表の準備をする。 復習：各自の活動とゼミでの意見を振り返り、推敲する。	2 時間
29	最終発表会	発表 <面接>	柳本 川上	予習：最終発表 PP 資料印刷の準備をする。 復習：論文・一次抄録推敲。	2 時間
30	まとめ 最終論文・抄録提出	演習 <面接>	柳本 川上 浅野	予習：論文・一次抄録を完成させる。 復習：今後の助産研究活動の展望について考察する。	2 時間
成績評価方法・基準		研究プロセス・論文・抄録作成 80% 態度・プレゼンテーション 20% （ゼミ担当者全員で評価を行う）			
課題に対するフィードバック		<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の出題意図の説明を講義中に行い、質疑応答を行います。</li> <li>・各ゼミにおいて、個別に適時フィードバックしていきます。</li> <li>・中間および最終発表時などに総評や今後の学修アドバイスをを行います。</li> </ul>			
教科書		工藤美子編集：助産師基礎教育テキスト第 1 巻,2024			
参考書・参考文献		黒田裕子他監訳：バーズ&グローブ，看護学研究入門，原著 第 7 版，ELSEVIER，2021. 牧本清子・山川みやえ編著：よくわかる看護研究論文のクリティーク 第 2 版，日本看護協会出版，2020. 黒田裕子：黒田裕子の看護研究 step by step 第 6 版，医学書院，2023 我部山キヨ子編：助産学講座 1，基礎助産学 [1] 助産学概論，医学書院， 早川和生編著：看護研究のすすめ方 論文の書き方，医学書院			
オフィス 学修相談 メッセージ その他		柳本 朋子 火曜日 16：30 ～ 17：30 連絡先：2 号館 1 階 L218 メールアドレス:yanagimoto@stmaryacjp.onmicrosoft.com 上記時間帯以外でも可能な時間であれば随時対応します。事前にご連絡ください。 メッセージ：今後の専門職としての科学的根拠に基づく助産実践や、研究によるエビデンスの確立のための研究プロセスや今後の研究活動の発展むけて学びます。			

開設科目名	周産期ハイリスクケア	科目コード	MWSD902	開設期	通年
単位数(履修区分)	1単位(必修)	時間数	30時間	授業区分	講義・演習
責任者	川上桂子	担当者	川上桂子、柳本朋子、浅野美智留、堀大蔵、下村卓也、白川嘉継、田中佳代、峰原奈緒子		
授業の概要(授業の目的)					
周産期におけるハイリスク妊娠・分娩・産褥・産後の女性への対応、助産ケアに必要な知識・技能・態度について学修する。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1. ハイリスク妊娠・分娩・産褥期・産後の女性の病態・診断・治療・管理に関する基礎的知識を理解できる。			1. 人間の尊厳といのち・生命の尊重		
2. 心理・社会的ハイリスク、特定妊婦について説明できる。			2. 自然性を尊重したケア/ケアリング		
3. ハイリスク妊産褥婦に対する標準的な助産ケア計画を立案できる。			3. 各ライフステージにおける全人的な理解		
4. ハイリスクの母児と家族への助産師としての役割について考察できる。			◎4. 根拠に基づく実践		
			◎5. 他職種との協働・連携		
			◎6. 多様性の尊重した地域・国際貢献		
			◎7. 専門職としての主体性・自律性		
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等) *遠隔授業の方法: Zoom/Teamsによる同時双方向型					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	周産期医療の現状とハイリスク妊産褥婦管理の課題と今後の展望	講義 <面接>	堀	予習:教科書の該当箇所、事前資料を読む 復習:授業内容の振り返りと考察をする。	2時間
2	妊娠期の異常 病態・診断と治療 胎児・胎児付属物異常 前置胎盤、常位胎盤早期剥離、他	講義 <面接>	下村	予習:教科書の該当箇所、事前資料を読む 復習:授業内容の振り返りと考察をする。	2時間
3	分娩・産褥の異常 病態・診断・治療 ① 分娩期の異常 分娩3要素の異常等 産褥期の異常 分娩に伴う合併症 弛緩出血、子癇	演習 <面接>	堀	予習:教科書の該当箇所、事前資料を読む 復習:授業内容の振り返りと考察をする。	2時間
4	分娩・産褥の異常 病態・診断・治療 ② 産科的処置・手術分娩(吸引・鉗子分娩・帝王切開術、産科麻酔など) 産科危機的出血 ショック DIC	講義 <面接>	下村	予習:教科書の該当箇所、事前資料を読む 復習:授業内容の振り返りと考察をする。	2時間
5	周産期メンタルヘルス ・精神疾患合併妊産褥婦の病態・診断・治療 ・産後うつ予防的ケア、支援体制、他職連携	講義 <面接>	白川	予習:教科書の該当箇所、事前資料を読む 復習:授業内容の振り返りと考察をする。	2時間
6	妊娠期の異常とケア① ハイリスク妊婦のアセスメント・ケア (血液型不定合妊娠、切迫流早産、妊娠高血圧症候群、多胎妊娠など)	講義 <面接>	柳本	予習:教科書の該当箇所、事前資料を読む 復習:授業内容の振り返りと考察をする。	2時間
7	妊娠期の異常とケア② ハイリスク妊婦のアセスメント・ケア (心疾患・呼吸器疾患・甲状腺疾患など)	講義 <面接>	柳本	予習:教科書の該当箇所、事前資料を読む 復習:授業内容の振り返りと考察をする。	2時間
8	妊娠期の異常とケア③ 糖尿病合併妊娠・妊娠糖尿病合併女性とその家族への助産ケア	講義 <面接>	田中	予習:教科書の該当箇所、事前資料を読む 復習:授業内容の振り返りと考察をする。	2時間
9	分娩期の異常とケア① 正常から逸脱予防と逸脱時のケア	講義 <面接>	川上	予習:教科書の該当箇所、事前資料を読む 復習:授業内容の振り返りと考察をする。	2時間
10	分娩期の異常とケア② 吸引分娩・帝王切開、産科的危機出血時のケア	講義 <面接>	川上	予習:教科書の該当箇所、事前資料を読む 復習:授業内容の振り返りと考察をする。	2時間
11	分娩・産褥期の異常とケア③ 緊急時の対応	講義 演習 <面接>	川上 柳本	予習:教科書の該当箇所、事前資料を読む 復習:授業内容の振り返りと考察をする。	2時間
12	心理社会的ハイリスク妊産婦と家族への看護	講義 <遠隔>	峰原	予習:教科書の該当箇所、事前資料を読む 復習:授業内容の振り返りと考察をする。	2時間

13	ハイリスク入院中の妊産褥婦へのケアの実際 妊娠期～退院後まで	講義 <面接>	川上 (GS)	予習：教科書の該当箇所、事前資料を読む 復習：授業内容の振り返りと考察をする。	2 時間
14	ハイリスク妊産褥婦に対する標準的な助産ケア計画立案	講義 GW <面接>	川上 柳本	予習：標準的な助産ケア計画立案 復習：授業内容の振り返りと考察をする。	2 時間
15	まとめ と発表 標準的な助産ケア計画立案発表 助産師の役割について考察	発表 討議 <面接>	川上 柳本 浅野	予習：ケア計画修正、発表準備 復習：授業内容の振り返りと考察をする。 今後の課題・展望について考察する。	2 時間
成績評価方法・基準	定期試験 60% (堀 20% 下村 20%・川上 10% 柳本 10%) 課題 20% (川上) 課題発表 10% (担当教員) 演習態度・参加度 10% (川上・柳本)				
課題に対するフィードバック	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の出題意図の説明を講義中に行い、質疑応答を行います。</li> <li>・課題へは個別にコメントや総評および今後の学修アドバイスを行います</li> </ul>				
教科書	①小林康江編：助産師基礎教育テキスト7 ハイリスク妊産褥婦新生児へのケア 日本看護協会出版 最新版				
参考書・参考文献	北山眞理子編：今日の助産 南江堂 最新版 我部山キヨ子編：助産学講座4 基礎助産学 [4] 母子の心理・社会学 医学書院 最新版 日本産婦人科医会：妊産婦メンタルヘルスマニュアル 2017 年 日本周産期メンタルヘルス学会：周産期メンタルヘルス コンセンサスガイド 2023 白川嘉継：人生の基盤は妊娠中から3歳までに決まる 東洋経済新報社 2018 年 日本産婦人科学会/日本産婦人科医会編集：産科婦人科診療ガイドライン 2020. エビデンスに基づく 助産ガイドライン：妊娠期・分娩期・産褥期 2020 その他、適宜、参考資料・参考文献を紹介します。				
オフィス 学修相談 メッセージ その他	オフィス：川上 桂子水曜日, 16:30～17:30 随時対応します。事前にご連絡ください。 連絡先：2 号館 1 階 L219 メールアドレス：kawakami@stmaryacjp.onmicrosoft.com メッセージ：女性がより良い健康状態で安心して妊娠・分娩・産褥期を過ごすことは、胎児の健康やその後の健やかな成長にもつながります。異常を学ぶことで、ハイリスク妊産褥婦への助産ケアに加え、対象者を全人的に捉え、正常からの逸脱予測や予防、適応促進のための助産ケアへの理解を深めていきましょう。				



開設科目名	胎児・新生児・乳幼児ハイリスクケア	科目コード	MWSD903	開設期	通年
単位数(履修区分)	2単位(必修)	時間数	30時間	授業区分	講義・演習
責任者	柳本朋子	担当者	柳本朋子、井口亜由、前野泰樹、井上悠香里、橋本武夫、白川嘉継、堺 裕		
授業の概要(授業の目的)					
胎児管理を中心とした周産期医療の実際およびハイリスク新生児の概念、新生児の疾病や異常への対処について学修する。さらにハイリスク乳幼児の健康状態および発育状態を診断し、養育者への育児支援ができるための知識・技術・態度について学修する。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1.胎児の健康状態の診断に関する基礎知識について理解できる。			◎1.人間の尊厳と生命の尊重		
2.ハイリスク新生児の疾病や異常への対応に必要な基礎知識について理解できる。			◎3.各ライフステージにおける全人的理解		
3.ハイリスク新生児とその家族の生理的、心理社会的アセスメントとケアについて理解できる。			4.根拠に基づく実践		
4.新生児ケアの倫理的課題と今後の展望について考察できる。			5.他職種との協働・連携		
5.乳幼児の健康状態および発育・発達を診断するための必要な知識について理解できる。					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等) ※遠隔授業の方法: zoom/teams による同時双方向型					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	胎児の成長と発達 出生・胎内から胎外生活の適応	講義 <遠隔>	白川	予習:教科書の指定の箇所を読んでおく。 復習:授業内容の振り返りと考察をする。	1時間
2	新生児の生理 新生児の感覚能力	講義 <遠隔>	白川	予習:教科書の指定の箇所を読んでおく。 復習:授業内容の振り返りと考察をする。	1時間
3	ハイリスク新生児の主要な病態と治療① 呼吸器・循環器系の発達と障害 呼吸器疾患、先天性心疾患、他	講義 <面接> GW	前野	予習:教科書の指定の箇所を読んでおく。 復習:授業内容の振り返りと考察をする。	1時間
4	ハイリスク新生児の主要な病態と治療② 新生児蘇生、外科的疾患、黄疸、痙攣、感染症 他	講義 <面接> GW	前野	予習:教科書の指定の箇所を読んでおく。 復習:授業内容の振り返りと考察をする。	1時間
5	ハイリスク新生児の主要な病態と治療③ 胎児診断と胎児医療について	講義 <面接> GW	前野	予習:教科書の指定の箇所を読んでおく。 復習:授業内容の振り返りと考察をする。	1時間
6	NICUとハイリスク新生児のケア① 体温、呼吸循環管理、栄養管理、感染予防、PVL、脳出血他	講義 <面接>	井上	予習:教科書の指定の箇所を読んでおく。 復習:授業内容の振り返りと考察をする。 配布資料の復習	1時間
7	NICUとハイリスク新生児のケア② 新生児の保育環境を整える 神経行動学的発達を助けるケア	講義 演習 <面接>	井上	予習:教科書の指定の箇所を読んでおく。 復習:授業内容の振り返りと考察をする。 配布資料の復習	1時間
8	NICUとハイリスク新生児のケア③ 治療・看護内容の理解と意思決定への支援 早産児・超低出生体重児のケア	講義 演習 <面接>	井上	予習:教科書の指定の箇所を読んでおく。 復習:授業内容の振り返りと考察をする。 配布資料の復習	1時間
9	ハイリスク新生児の家族へのケア① 出生直後から産科入院中の家族へのケア	講義・演習 <面接>	井口	予習:テキスト・文献や1~8までの学習を活用し、新生児の適応生理や病態生理を復習し理解しておく。	1時間
10	ハイリスク新生児の家族へのケア② 産科退院後から地域で生活をする家族へのケア	講義・演習 <面接>	井口	復習:演習で考えた家族へのケアを振り返り、実践に活かせるようにまとめる。	1時間
11	新生児医療の歴史 ディベロップメンタルケア、Skin to Skin Contact、タッチケアほか	講義 <面接>	橋本	予習:教科書の指定の箇所を読んでおく。 復習:授業内容の振り返りと考察をする。	1時間
12	乳幼児の発達① 健康診査・発達評価、発達神経学的検査	講義 <遠隔>	堺	予習:教科書の指定の箇所を読んでおく。 復習:授業内容の振り返りと考察をする。 配布資料の復習	1時間
13	乳幼児の発達② 発育・発達と評価:第I期からIII期までの粗大運動、微細運動、精神発達	講義 <遠隔>	堺	予習:教科書の指定の箇所を読んでおく。 復習:授業内容の振り返りと考察をする。 配布資料の復習	1時間
14	乳幼児の発達③ 発育・発達と評価:第IV期以降の粗大運動、微細運動、精神発達	講義 <遠隔>	堺	予習:教科書の指定の箇所を読んでおく。 復習:授業内容の振り返りと考察をする。 配布資料の復習	1時間

15	子どもを亡くした親・家族の喪失体験からみた母親と家族への看護 周産期におけるグリーフケア	講義 <面接>	柳本 (GS)	予習：教科書の指定の場所を読んでおく。 復習：配布資料の復習 レポートを提出する。	1 時間
成績評価方法・基準	定期試験 90%、業態度・授業への参加度 10% (担当者全員)				
課題に対するフィードバック	テキスト予習と配布資料の復習が課題であり、講義をオムニバス形式で担当しますので、講義中、あるいは講義後やメールでの質問を受けることでフィードバックをします。				
教科書	①助産師基礎教育テキスト,第4・5・6・7巻,日本看護協会出版会,最新版 ②田村正徳:新生児蘇生法テキスト,メジカルビュー 最新版				
参考書・参考文献	我部山キヨ子編:助産学講座 5,6,8. 医学書院,最新版 井上裕美他監修:病気がみえる 10 産科,メディックメディア,最新版 仁志田博司:新生児学入門 第4版 医学書院,東京,最新版 白川嘉継:人生の基盤は妊娠中から3歳までに決まる,東洋経済 Lois Bly:写真で見る乳児の運動発達.生後10日から12ヶ月まで.協同医書.1998. 大城昌平編:リハビリテーションのための人間発達学 第2版.メディカルプレス.2019.				
ワイアア- 学習相談 メッセージ その他	柳本 朋子 火曜日 16:30 ~17:30 連絡先:2号館1階 L218 メールアドレス:yanagimoto@stmaryacjp.onmicrosoft.com 上記時間帯以外でも可能な時間であれば随時対応します。事前にご連絡ください。 メッセージ:各講義で深めたい事や質問は、各講義の後に各講義担当教員にお尋ねください。非常勤講師の場合、科目責任者から各講義担当者に連絡を取ります。				

開設科目名	Practical English (実践英語)	科目コード	MWSD904	開設期	通年
単位数 (履修区分)	1 単位 (自由)	時間数	15 時間	授業区分	講義
責任者	Eric FORTIN	担当者	Eric FORTIN		
授業の概要 (授業の目的)					
Students will learn basic English communication skills that will prepare them for midwifery activities around the world.					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1) Students will be able to discuss topics related to international midwifery.			11 多様な価値を尊重する姿勢		
2) Students will be able to give presentations in English.			◎6 コミュニケーションスキル(語学)		
3) Students will be able to prepare for midwifery activities in English.			5 問題解決判断力		
授業計画 (授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	Course introduction & English review	講義	FORTIN	Bring motivation	1 時間
2	Maternity clinic, vocab; Article discussion	講義	FORTIN	Review & Article selection	2 時間
3	34 weeks later, vocab; Article discussion	講義	FORTIN	Review & Article selection	2 時間
4	In the labor room, vocab; Article discussion	講義	FORTIN	Review & Article selection	2 時間
5	After the delivery, vocab; Article discussion	講義	FORTIN	Review & Article selection	2 時間
6	Day of discharge, vocab; Final discussion	講義	FORTIN	Review & Article selection	2 時間
7	Role play activities, Review, & Presentation practice	講義	FORTIN	Review & Preliminary Presentation Preparation	2 時間
8	Final Presentations	講義	FORTIN	Presentation Preparation	4 時間
成績評価方法・基準					
成績評価方法・基準		Presentation: 80%; Class participation: 20%			
課題に対するフィードバック					
課題に対するフィードバック		<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表後の批評・アドバイス</li> <li>・ロールプレイ後の批評・アドバイス</li> </ul>			
教科書					
教科書		Handouts from the instructor			
参考書・参考文献					
参考書・参考文献		特になし			
ワイアワー 学習相談 メッセージ その他					
ワイアワー 学習相談 メッセージ その他		Eric FORTIN (6 号館 2F L621 研究室)、オフィスアワー:水曜日 16:30~17:30			